学校教育目標　「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
ー心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」

とうのかふち

《学校だより》　第４号
令和４年５月３１日発行
湯河原町立湯河原小学校
校長　　北村　和裕

５月とは言え、天気の良い日は気温も上昇し、汗をかくくらい暑さを感じるようになりました。暑くなってくると心配なのが、熱中症です。先日もプール清掃があり、私もプールの壁面をブラシでこすっていましたが、２０分ぐらいで汗が噴き出てきてマスクも下の方に汗がたまり、体調の変化を感じ始めました。すぐに作業をやめて日陰の所に行き、マスクを外すと体調が戻っていきました。

子どもの中には、少しの体調変化には気付かずに、または気付いてもそのままにしてしまい、具合が悪くなってから体調不良を訴える可能性もあります。マスクは感染症対策のために着けていますが、これから暑くなる時期には、熱中症のリスクも考えなければなりません。先週の５月２４日付けで文部科学省から「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」という通知が出されました。「熱中症リスクが高い夏場においては、登下校時にマスクを外すよう指導するなど、熱中症対策を優先し、マスクの着用は必要ありません」と書かれています。体育の授業や休憩時間による外遊びについても、同様のことが書かれています。

マスクを外して体力テスト

子どもの健康や命を守るためにも、マスクの着脱については状況に応じて適宜判断し、子どもたちに声をかけていきたいと考えています。（もちろん、外すことを強制することはいたしません）保護者の皆様や地域の方々のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

３年ぶりの「日光修学旅行」

昨年の修学旅行は山梨方面、一昨年は湯河原に宿泊して八景島シーパラダイスや箱根の見学でしたが、今年の修学旅行は３年ぶりに日光方面でした。実施する前は、コロナの感染状況や本人または家族が陽性と診断された場合の対応などいろいろなことを想定していました。当日具合が悪くなった子がいた場合の対応なども検討していました。しかし、蓋を開けてみるとそれらの想定が全部吹き飛んでしまうくらいに、全員が２日間とも元気に笑顔で旅行をすることができました。

１日目は華厳の滝と足尾銅山、２日目は東照宮や大猷院などを見学しました。日光の豊かな自然と歴史・文化に触れることができ、大変見応えがありました。また、子どもたちにとっては、電車の中や旅館で過ごすことも楽しみの１つでした。２日間の中で、子どもたちが見せる笑顔や友だちを思いやる優しさにも触れることができ、本当に実施できて良かったと思いました。ご家族の皆様には、コロナ禍でゴールデンウィーク辺りからの家での過ごし方にもご配慮いただきました。ご家庭のご協力にも心より感謝申し上げます。

３年ぶりの「音楽朝会」

昨年、一昨年は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されるたびに、音楽の時間に歌を歌うことも、リコーダーを吹くことも控えていました。ですから、学年ごとに発表する「音楽朝会」もできませんでした。しかし、今年は工夫しながら実施していくことにしました。トップバッターは４年生です。体育館に全校の子どもたちが集まり、４年生が歌とリコーダーの演奏を披露しました。当初は、４年生が体育館で演奏し、他の学年はリモート朝会とし教室のテレビで見るという案もありましたが、全員が体育館で見ることを選んだのは大正解でした。４年生の歌に全員で手拍子で応え、リコーダーの演奏が終わると５学年分の大きな拍手が湧き起こりました。顔と顔を合わせての音楽朝会だからこそ、４年生の一生懸命な発表に対して、他の学年が温かく聴きながら発表者を讃える素敵な瞬間になりました。

俳句教室

今年の１１月に「ねんりんピックかながわ」が開催されます。湯河原町は俳句交流大会を実施します。小学生から高齢者まで幅広い年代の方々から俳句を募集し、優秀作品を選定して表彰されるそうです。５・６年生は、国語の時間の俳句の学習をするので、神奈川現代俳句協会の方をお招きして俳句の作り方について学習をしました。俳句の約束事である「五・七・五の十七音」や「季語」について丁寧に説明していただきました。自分たちの俳句作りに役立てていました。

（その他、子どもたちの様子は学校のブログに掲載中）
https://www.yusho.site/